

地区家庭教育支援プログラム指導者フォローアップ研修

令和5年8月30日（水）塩谷庁舎にて開催

各市町の家庭教育支援プログラム指導者研修の修了生及び家庭教育支援の活動者を対象に開催しました。今年度は、那須地区の方も参加され、さらにつながりを広げることができました。

研修前半は、とちぎの子ども育成憲章唱和に始まり、栃木県総合教育センター教育相談部 仁藤裕子指導主事をお招きし、「カウンセリングマインドと相互理解」についてのご講話をいただきました。傾聴を実践するにあたり必要な態度として、受容的態度、理解的態度、誠実な態度があり、ペアでの体験を通し、聴き方の大切さを再確認しました。

後半は「アフターコロナ これからの取組」と題し、情報交換の場としました。コロナ禍での家庭教育支援の話題から今後の取組など、どのグループも活気のある話し合いとなり、新たなつながり作りの場にもなりました。

引き続き各市町において、家庭教育支援の場にてご活躍いただけることを期待しております。

《参加した方からの感想》

- ・「カウンセリングマインド」の演習で、相手のバックにあるものを引き出して、相手が気付くきっかけを作ることの大切さを感じた。
- ・相談を受けるときだけではなく、親子と接するときにも使えると思った。
- ・他市町との情報交換ができてとてもよかった。



〈とちぎの子ども育成憲章唱和〉



〈傾聴についてペアワーク〉

参加者の実践の場として各校保護者会等での出前講座を行っています。ぜひ、ご活用ください。お問い合わせは、教育事務所または各市町生涯学習課まで。

家庭教育支援出前講座

那須烏山市立境小学校にて、PTA保護者会の折に、県東親育ちスマイルネット那珂川支部「ぱれっと」の方の協力のもと、「子どものほめ方・しかり方～思春期と自己肯定感～」を行いました。

アイスブレイクで和やかな雰囲気になった後、しかり方やほめ方についてグループで考えたり、リフレーミングについて考えたりしました。

大人は、「できて当たり前」と捉えがちですが、その子自身の小さな良さや小さな頑張りを目を向けて認め、また、その子が感動していることや困っていることに寄り添うことで、自己肯定感や自尊感情が育ちます。学校、家庭、地域みんなで子どもを育てていきましょう。



〈那須烏山市立境小学校でのPTA保護者会〉

《参加した保護者の方からの感想》

- ・メッセージで子どもに伝えたい。
- ・子育てのヒントがたくさんいただけた。
- ・リフレーミング（短所を長所に言い変える）が勉強になった。
- ・しかり方、ほめ方が色々あるのだと気付いた。
- ・日々、「何とかしないと」と思い、ほめることが少ないという事実が気付いた。

とちぎ子どもの未来創造大学「本物」体験出前講座

とちぎの子どもたちが、学ぶ意欲を高めたり、「夢」をもつ大切さや将来について考えたりする機会として、県内の高等機関や民間企業等、また「とちぎ未来大使」を講師として、「本物に触れる」体験や講話を提供しています。管内の学校や市町でも開催されています。



出前講座
7月28日塩谷町生涯学習センター
講師:おもちゃのまちバンダイミュージアム
金井 正雄 氏
内容:エジソンの発明品の実演



出前講座
8月3日さくら市喜連川公民館
講師:埋蔵文化財センター
谷中 隆 氏
内容:黒曜石を使った矢じり作り



出前講座
8月24日那須烏山市烏山公民館
講師:(株)SUBARU航空宇宙カンパニー
菊地 聡之 氏
内容:飛行機の仕組みと紙飛行機作り



出前講座
9月16日矢板市片岡公民館
講師:帝京大学理工学部情報電子工学科
室 幸市 氏
内容:牛乳パックでカメラ作り



移動音楽鑑賞教室

令和5年6月19日に境小学校、6月22日に小川小学校、6月23日に塩谷中学校で移動音楽教室を開催しました。

移動音楽鑑賞教室では、「ブラックボトムブラスバンド」による迫力のあるジャズ演奏を鑑賞しました。児童・生徒は、楽器の説明を聞いたり、ジャズのリズムを体で感じ音に合わせて動いたり、ボディパーカッションを体験したりと音楽を楽しみました。ブラックボトムブラスバンドの演奏では、音楽の心地よさやいつもとは違った音楽の楽しみ方を全身で感じたのではないのでしょうか。



塩谷町立塩谷中学校



那珂川町立小川小学校